



Profile

Baritone

三輪主恭 (みわ かずやす)

昭和音楽大学音楽学部声楽コース卒業。声楽、発声法を中川順子氏に師事。給費生および給費奨学生として学費免除され、Teresa Berganza、William Matteuzzi、堀内康雄、木村俊光など、国内外の演奏家のマスタークラスで研鑽を積んだ。首都圏音楽大学フェスティバルコンサートに学部生代表として出演、ソリストとして星出豊指揮テアトロ・ジューリオ・シウワ・オーケストラと共演するなど、在学中より多彩な演奏活動を行う。

第1回バーゼル国際音楽新人オーディション合格、審査員賞。第3回バーゼル国際声楽コンクールプロフェッショナル部門第2位、特別審査員Vesselina Kasarovaより「イタリアの伝統的な発声法を体得しており、プロフェッショナルである」と評され、日本人初ベストオペラ賞を受賞。下田国際音楽コンクールプロフェッショナル部門奨励賞。

日演連推薦新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズ、999人の第九の会公演においてソリストとして札幌交響楽団と共演。北海道大学交響楽団100周年公演にて秋山和慶氏と共演、ベートーヴェン第九交響曲のバリトン・ソロを務め、好評を博した。

オペラでは『ラ・ボエーム』マルチェッロ役『ラ・ファヴォリータ』アルフォンソ11世役『ドン・パスカルレ』マラテスタ役など多くの演目でメインキャストを務める。特に八木幸三氏の新作歌劇『ノンノ』海鷲役『アドリアーナ・ルクヴルール』ミシヨネ役が音楽現代、音楽の友、新聞各紙等で絶賛。第1回hitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』では全国公募よりタイトルロールに抜擢され、歌唱力、演技力両面において高評価を得る。

2023年4月に開催した1stソロ・コンサートは、さっぽろ劇場ジャーナル第9号コンサートレビューにて最大級の賛辞で評された。

歌手以外にも音楽誌へのエッセイ寄稿、オペラ字幕執筆、朗読コンテスト上位入選、俳優として芥川賞作家山下澄人の新作戯曲に出演するなど、多彩な活動を展開する。

第33回道銀芸術文化奨励賞(音楽部門)受賞。



Piano

三輪 葉(みわ しおり)

札幌市出身。北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース卒業。同大学院修士課程修了。ドニゼッティ作曲オペラ『愛の妙薬』、ヒンデミット作曲オペラ『ロングクリスマスディナー』、チレア作曲オペラ『アドリアーナ・ルクヴルール』のコレペティートル及びオーケストラチェンバリストを務めるほか、演出部メンバーとしてhitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』に携わるなど、精力的に活動。

オペラ、声楽のほか、木管、金管、弦楽器、打楽器など伴奏ジャンルは多岐にわたる。ロイヤルコンサートヘボウ管弦楽団トロンボニスト、マーティン・スキップス来日時に伴奏ピアニストを務め、I.ラインハウト氏作品の日本初演を行なった。八木幸三氏の新作歌曲ならびに歌劇『ノンノ』、故池田松洋氏作曲『幻想曲 日向・薩摩』各初演など、初演作品のピアニストとしても定評がある。道銀文化財団主催北海道近代美術館ロビーコンサート、北広島市花ホールロビーコンサートに出演など、道内を中心に演奏活動を行う。

第3回バーゼル国際声楽コンクールにて伴奏者賞受賞。

